

令和6年度 「特別の教育課程の実施と学校評価の結果」について

R7.3月作成

1 特別の教育課程について

- ・船橋市の「教育課程特例校指定」に沿って、1・2年生で実施した。
→生活科の時数の一部で外国語活動を実施
1年生：1単位時間20分→年間を通して17時間実施
2年生：1単位時間20分→年間を通して17.5時間実施
- ・学級担任や英語担当、ALTのチームティーチングで実施した。

2 到達目標

- ・身近な日常会話や基本国を理解し、使うことができる。
- ・初歩の基本的な挨拶や簡単なやりとりができる。
- ・英語の音声に慣れ親しみ、英語らしい発音ができる。

3 成果と課題

(1) 成果

- ・チームティーチングにより、低学年からネイティブの発音に触れることができた。
- ・簡単なゲームなどを通して、外国語への抵抗感が少なくなった。
- ・中・高学年になったときの理解がスムーズになっている。
- ・授業の流れを校内である程度統一することで、授業の見通しをもって取り組むことできた。

(2) 課題

- ・時間が限られているため、指導する内容を精選していく必要がある。
- ・生活科の時数が減っているため、軽重をつけながら取り組んでいく必要がある。

4 令和7年度の方針や重点目標

- 引き続きチームティーチングを行うことで、指導にあたる職員の共通理解を密にする。
→指導内容の精選
- 中・高学年の英語専科とALTの連携を図ることで、中・高学年に向けた系統を意識しながら授業づくりを行っていく。
- 1・2年生の生活科における年間指導計画の再考と見直し